

む さ し す い ろ
武蔵水路

令和元年7月4日

ない す い は い じ よ
内水排除を実施

武蔵水路周辺（埼玉県行田市・鴻巣市）では、前線の影響により、7月3日（水）22時から4日（木）15時までに総雨量39mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）の降雨を記録しました。

この降雨による出水に対し、水資源機構利根導水総合事業所が管理する武蔵水路では、河川及び周辺地域からの洪水を2箇所の水門及び5箇所の放流口から水路内に取り込み、荒川に排水する操作（内水排除）を行いました。内水排除の量は7月4日（木）10時過ぎから同日17時までの累計で約51万m³となり、東京ドーム（124万m³）約0.4杯分に相当します。

今回の内水排除により、忍川の佐間水門地点で約0.23m、元荒川の川面水門地点で約0.36m河川水位を低減させ、武蔵水路周辺の内水氾濫被害を防ぎました。



令和元年7月5日

独立行政法人 水資源機構
利根導水総合事業所

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、水資源記者クラブ
竹芝記者クラブ、熊谷記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 利根導水総合事業所 総務課長 野村 のむら
住 所：埼玉県行田市大字須加字船川4369
電 話：048（557）1501

武蔵水路の防災操作ないすいはいじよ（内水排除）

1. 降雨の状況

武蔵水路周辺では7月3日（水）22時から雨が降り始め、4日（木）15時までには総雨量39mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）を記録しました。

2. 武蔵水路の防災操作（内水排除）

この降雨による出水に対して、武蔵水路では、2箇所の水門及び6箇所の放流口から洪水等を武蔵水路内に取り込み荒川に排水する内水排除を実施しました。

水門：佐間水門（忍川）、川面水門（元荒川）

放流口：（行田市）長野落放流口、旧忍川放流口、堤根放流口

（鴻巣市）川面放流口、赤見台放流口

今回の内水排除で排水した量は、7月4日（月）10時過ぎから同日17時までで累計約51万 m^3 、東京ドーム（124万 m^3 ）約0.4杯分の量に相当します。

3. 佐間水門及び川面水門における内水排除の効果

今回の内水排除では、忍川の佐間水門地点において、4日（火）10:20のピーク水位のA.P.17.57mに対して、佐間水門により洪水を取り込まなかった場合の水位はA.P.17.80mになると考えられ、約0.23mの水位低減効果がありました。

川面水門では、元荒川の川面水門地点において、4日（木）11:10のピーク水位のA.P.16.33mに対して、川面水門により洪水を取り込まなかった場合の水位はA.P.16.69mになると考えられ、約0.36mの水位低減効果がありました。

※ A.P.は荒川工事基準面

4. これまでの内水排除実績

武蔵水路は、平成27年度に改築事業を完了して、本年度は新しい武蔵水路に生まれ変わって4年目です。改築後に実施した内水排除は、平成28年度から通算15回目になります。

平成28年度実績：内水排除6回

平成29年度実績：内水排除3回

平成30年度実績：内水排除3回

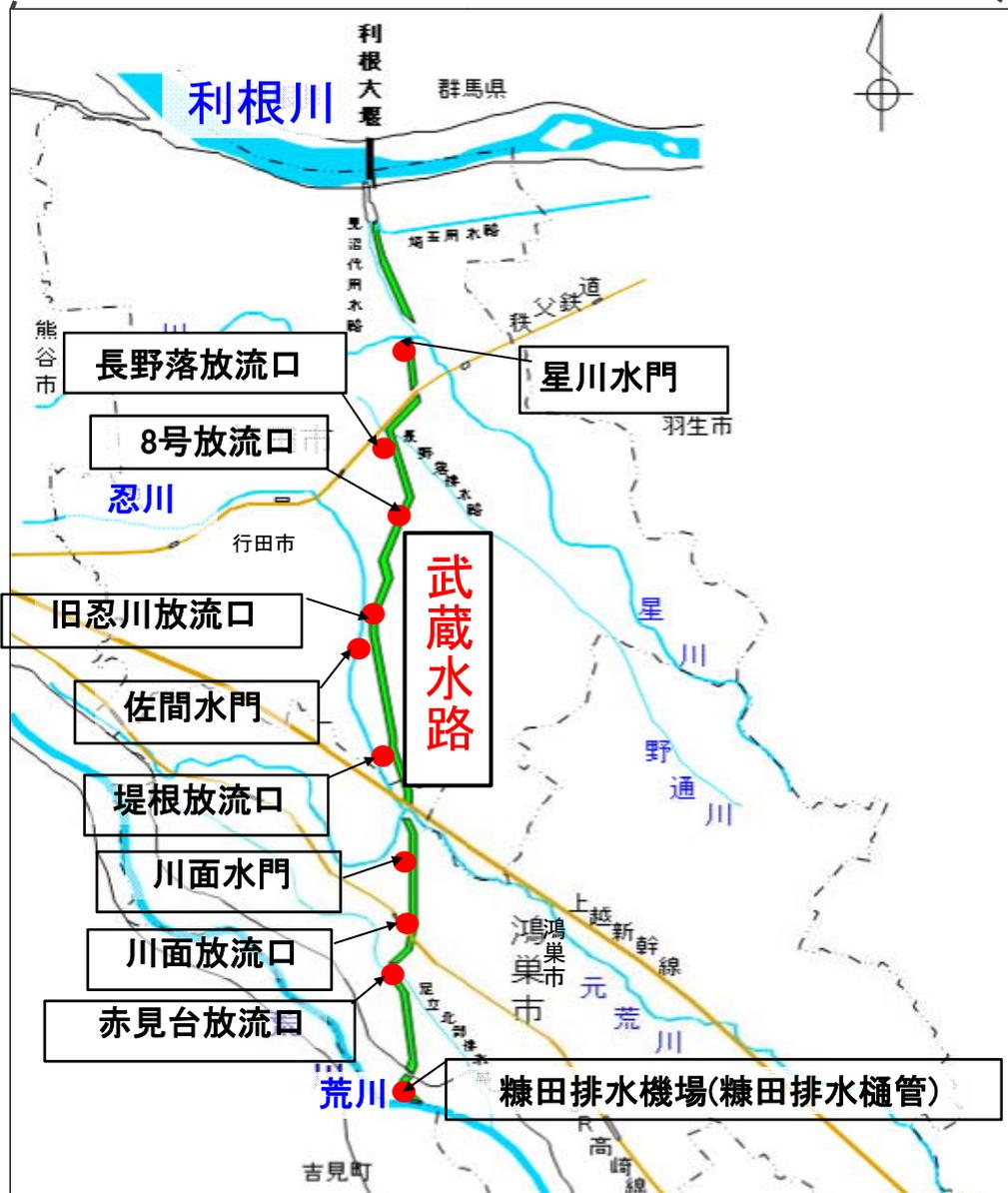
令和元年度実績：内水排除3回

※改築後の最大排水量：約537万 m^3 （平成29年10月22日～24日）

武蔵水路位置図



流域平面図

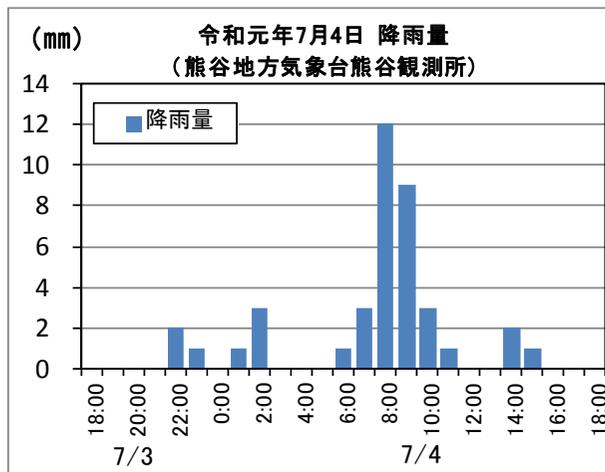


水門・放流口等位置図

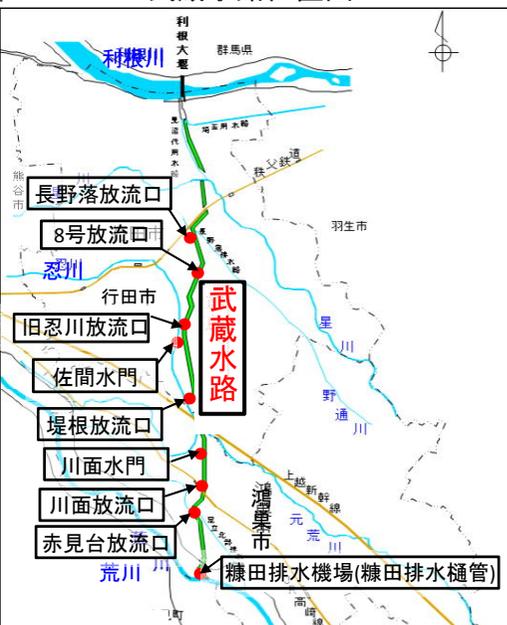
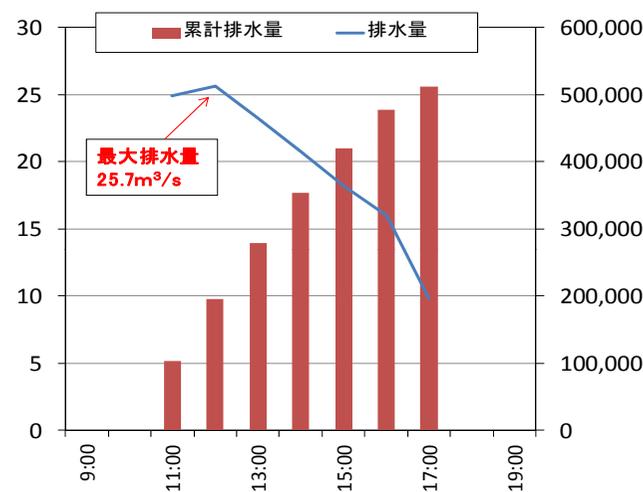
令和元年 7月4日 前線による降雨 武蔵水路内水排除速報



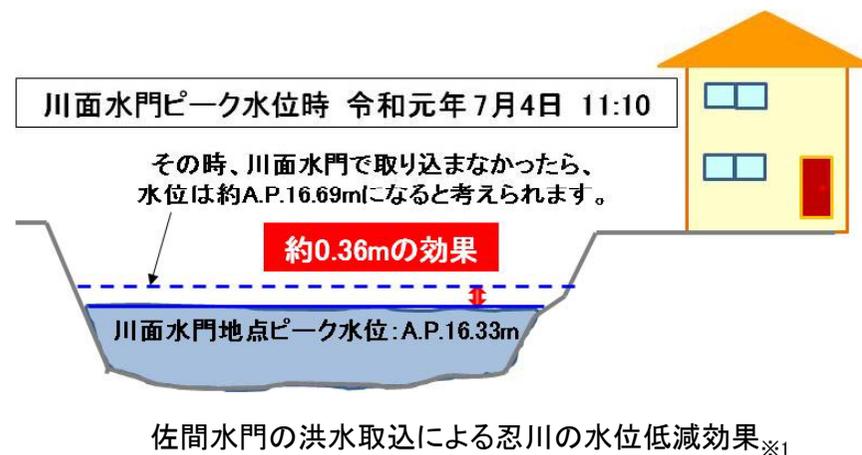
武蔵水路位置図



m³/s 7/4 内水排除取込量 m³



内水排除等操作した水門放流口等位置図



- 7箇所の水門・放流口により洪水等を武蔵水路に取り込み、累計約51万m³^{※1}を荒川へ排水しました。これは、東京ドーム(124万m³^{※2})約0.4杯分の量に相当します。
- 佐間水門で洪水を取り込んだことにより、元荒川(川面水門付近)で約0.36mの水位低減効果がありました。

※T.P.(東京湾平均海面)0.0m=A.P.(荒川工事基準面)1.13m

※1 取り込み量及び効果は水資源機構試算 ※2 東京ドームHP(<https://www.tokyo-dome.co.jp/dome/facilities/index.html>)

○令和元年7月4日 前線 内水排除状況



令和元年7月4日 10:35 佐間水門 水路側



令和元年7月4日 11:10 川面水門 水路側